

# VIEW

## 管理者による恣意的な判断と報告。そして事情聴取！

### 間違いに気付いても社員をいじめ抜く管理者！！ こんな管理者ばかりで社員はやってられません！！

6月7日の終了点呼間近、点呼場がある4階に上がっていた組合員に対し検修科長が突然「聞きたいことがあるから来てくれ」と事情聴取に応じるように言ってきました。

組合員は、何で事情を聞かれるか心当たりもなく不安のまま事情聴取に応じました。

検修科長は開口一番「6月3日の仕事は何だった」「どこの詰所だった」「何でB詰所にいた」と当日組合員がC詰所の仕事なのに違う詰所いたことを問題にしようとしたのです。組合員は、その時の状況を「午前中はC詰所での仕事でしたが、作業が終わったのでB詰所（予備の詰所で自分の詰所）に帰った。B詰所で次の準備をしていた」と午後の作業に向けて準備をしていたことを説明しました。予備者だから当日作業をする詰所と予備者の詰所の両方に顔を出すのは当たり前のことです。説明を聞いて検修科長も「そういうことだったのか」と納得せざるを得なかったのです。

6月3日の出来事で何故、事情聴取を受けないとだめなのか疑問に感じた組合員は、検修科長に「そもそも（T管理者から）どんな報告を受けているのですか」【事のやり取りは裏面に】と聞いてみました。しかし検修科長はまともに答えようとせず「C詰所でも準備は出来るはずだ」と本人に間違いがあったかのように誤魔化したのです。6月3日にB詰所においてその時の状況を報告したT管理者の報告に間違いがあったといえます。

検修科長は、報告が間違っていたと気づいたら、間違いだったと謝罪すればすむことです。それを誤魔化してしまう。今の管理者にはそういう体質が蔓延しています。

問題の根本は、6月3日にB詰所で組合員が午後の準備をしていたところ、T管理者が「これをやってくれ」と差し出した「これ忘れシート」を断ったためその腹いせに何かしなければと考えたのでしょう。こんな恣意的な報告と事情聴取をやられたらたまったものではありません。聞きたいことがあるのなら事情聴取でなく普通に「6月3日、何でB詰所にいたのか？」と聞けばすむことです。いい加減にしてほしいものです！！

【管理者とのやり取りを裏面に掲載】

### 【6月3日の午前中の作業終了後のB詰めでの出来事】

- B詰所 T管理者が来て時間のある社員に「これ忘れシート」を渡していた。渡された社員は机のところで「これ忘れシート」を書いていた。
- 組合員 C詰所で作業を終えてB詰所（予備者の詰所）に戻ってきた。机の端で午後の作業の準備をし始めた。
- 管理者 ○○君も「これ忘れシート」をやってくれ
- 組合員 無理、準備があるから出来ません。  
今日はC詰めですから。（「これ忘れシート」は詰所毎にまとめてやっていたので今日の仕事はC詰所でB詰所の担当でないから）
- 管理者 C詰所なら早くC詰所に帰れ
- 組合員 これを書いてから（午後のチェックシートの準備をしてから）出て行きます。
- 管理者 いや、今すぐ出て行け。
- 組合員 わかりました。出て行きます。  
と自分の詰所から追い出されてしまいました。

### 【6月3日の昼休み直前のC詰め前での出来事】

- 役員 B詰所で○○ともめたそうですね。
- 管理者 いや、何ももめていない。
- 役員 でも、些細なことで言い争ったと聞いてますが。
- 管理者 普通に話しをただけだ。何ももめてない。
- 役員 口論になったのでないの。
- 管理者 むこう（組合員）が嫌っているからじゃないの。  
普通に話しをただけ・・・と話しの途中でどこかに行ってしまいました。

### 【6月7日の終了点呼直前の事情聴取】

- 検修科長 ちょっと話しが聞きたいから来てくれ。
- 組合員 えー、何か悪いことでもやりましたか。
- 検修科長 6月3日の仕事は何だった。
- 組合員 A班の○○でC詰所でした。
- 検修科長 C担務は△△だったなー。じゃー、何でB詰所にいた。
- 組合員 え、予備だから。C詰所で仕事が終わってGリーダーも「OKです」と言ってくれたから自分の詰所（B詰所）に帰って昼からの準備をしていた。  
そうしたら、T管理者がいて「これ忘れシートをやってくれ」と言ったので準備していたチェックシートを見せて「無理。準備があるから」と断っただけ。
- 検修科長 その時の状況をもう少し教えてほしい。
- 組合員 （上記6月3日の状況を報告）
- 検修科長 そうか。そういうことだったのか。
- 組合員 T管理者からどういう報告を受けているのですか。
- 検修科長 ……。C詰所でも準備出来るはずだ。C詰所で準備すればいい